

課題からなる分野ごとの目標設定について

資料1

基本認識															基本構想									
第5次基本構想		第5次総合計画基本計画		重点(5位まで)		総合戦略との関連	住民意識調査 (一部抜粋)	住民意識調査 自由意見 (一部抜粋)	まちづくりワークショップ (一部抜粋)	社会的潮流	町の現状	第4次からの 数値の変化		今後の取組方向	求められる対応	将来像	3案	分野	基本目標					
基本戦略	基本目標	施策	重要度	満足度	重要度 上位							満足度 下位	重要度						満足度	基本目標	方針			
人が輝くまちづくり戦略	まちの将来を担う人材を育てます	1 生きる力を培う学校教育の推進	2.00	0.65	重点	重点	基本目標1 「安心して子どもを産み育てられるまち(結婚・出産・子育て)」として実施	・将来のまちの望む姿について、「子育てがしやすい教育環境が整い子どもがのびのび成長できる町」が3番目に多く29.8%	・学力をはじめ、学校教育に不満がある ・不良やマナーの悪い子どもがいる	・教育の重要性の向上	・本町の小学校・中学校の学力はともに大阪、全国平均より低くなっている	0.15	0.30	×改善すべき	・グローバル化、情報化に対応する人材の教育 ・多様性や個性を尊重する教育の推進 ・結婚・出産・子育てに対する包括的な支援 ・地域一体となつての子育て ・子育てと就労の両立 ・出生数減少対策 ・子育て世帯(20～30代)割合減少対策	キャッチフレーズ	こども・教育	子育てがしやすいまち	学校教育が充実したまちづくり					
		2 子どもや若者の健全育成の推進	1.75	0.72	重点	重点						0.96	0.30	×改善すべき					切れ目のない子育て支援が充実したまちづくり					
		3 生涯学習の推進	0.31	0.39								0.16	0.52	×改善すべき										
		4 生涯スポーツの推進	0.84	0.20								0.02	0.52	×改善すべき										
		5 地域文化の継承	1.82	0.19								0.30	0.13	△ゆるやかに改善すべき										
	人にやさしい健康福祉の地域をつくりまします	7 子育て支援の充実	1.63	0.23	重点		基本目標2 「住民みんながつながる安心のまち(地域づくり)～子育て世代がずっと住み続けたいと思えるまち～」として実施	・将来のまちの望む姿について、「保険や医療体制などが充実し子どもからお年寄りまで安心して暮らせる」が最も多く56.6% ・人口減少に対して、「子育て世代に選ばれるまちづくり」が最も多く47.0%、「高齢者や障がい者が安心して暮らせるまちづくり」が2番目に多く23.7%	・公立保育園の老朽化が心配 ・経済的支援が欲しい ・町の健康診断項目を増やしてほしい	・少子化 ・超高齢社会	・人口における0～14歳の割合は低下傾向にあり、2020年では12.0% ・出生数は年々減少傾向にあり、2019年の出生数は111人 ・人口における65歳以上の割合は増加傾向にあり、2020年では28.3% ・認定介護者は増加傾向にあり、2019年では1,031人	0.44	0.36	○推進すべき	・セーフティーネットとしての福祉の充実 ・健康寿命の延伸 ・高齢者割合増加への対応		健康・福祉	健康に暮らせるまち	だれもが暮らしやすいまちづくり					
		9 障がい者(児)福祉の充実	0.82	0.16								0.35	0.09	×改善すべき					健康づくりを推進するまちづくり					
		8 高齢者福祉の充実	0.82	0.07								0.72	0.00	▼継続										
		11 社会保障制度の適正な運営	0.69	0.37								0.83	0.60	▼継続										
		6 健康づくりの推進	0.43	0.39								0.58	0.04	△ゆるやかに改善すべき										
	個性を認め合う社会をつくりまします	10 地域の絆で支え合う地域福祉の推進	0.38	0.02			0.14	0.19	▼継続	・個人の価値観を尊重する社会環境づくり ・誰もが尊重される多文化共生社会の実現 ・地域課題の解決や安全を担う地域コミュニティの維持・活性化 ・地域のつながりによる災害対策 ・リカレント教育の推進 ・移住・定住施策と選ばれるための魅力づくり、魅力発信 ・交流人口・関係人口の増加に向けた取組			自治・多様性	生涯活躍できるまち	多様な価値観を尊重するまちづくり 愛着がもてるまちづくり 生涯にわたって学べるまちづくり									
		12 平和で人権が尊重された社会の形成	0.99	0.43			0.16	0.06	▼継続															
		13 男女共同参画社会の推進	1.40	0.24			0.66	0.28	▼継続															
		14 多文化共生社会の形成	1.97	0.02			0.90	0.46	△ゆるやかに改善すべき															
安全・安心なまちづくり戦略	モノや環境を大切に、暮らしの豊かさにつなげます	16 循環型社会の推進	0.86	0.73			基本目標2 「住民みんながつながる安心のまち(地域づくり)～子育て世代がずっと住み続けたいと思えるまち～」として実施	・将来のまちの望む姿について、「交通事故や犯罪、災害のない、安全で安心して暮らせるまち」が2番目に多く36.3%	・ごみ処理を近隣市町行政と協力すべき			0.31	0.70	○推進すべき	・非常時でも最低限の機能を維持し続け、復旧が容易な行政		案1 案2 案3	安全・安心	安心して暮らせるまち	災害に強いまちづくり 安全に暮らせるまちづくり				
		17 地域環境保全の推進	0.25	0.38																				
		15 地球環境保全の推進	0.22	0.30																				
	安全・安心な明るい暮らしを確保します	19 防犯・交通安全対策の推進	2.14	0.01	重点				・災害時の対応が遅れた(優先順位の違和感を持った) ・サイバー犯罪、DVといった新たな犯罪の急増	・頻発する災害や南海トラフ地震などへの懸念 ・サイバー犯罪、DVといった新たな犯罪の急増	・平成30年の台風21号で大きな被害が発生している ・犯罪認知件数と交通事故件数は減少傾向	0.60	0.36	○推進すべき	・空家や公共施設の利活用 ・公共交通の充実					案1 案2 案3	都市基盤	環境と 便利で生活しやすいまち	人が集うまちづくり 町内移動がしやすいまちづくり 快適な都市基盤のまちづくり 環境へ配慮したまちづくり	
		18 危機・防災・減災対策の推進	1.96	0.33	重点							1.17	0.23	×改善すべき										
		20 消防・救急救命体制の充実	1.39	2.28								0.44	1.56	○推進すべき										
快適で活力あふれるまちづくり戦略	快適で利便性の高い生活・都市基盤を充実します	27 上下水道の充実	0.36	0.92			基本目標3 「安定した雇用を育むまち(雇用)～子育て世代の女性をはじめとして、個人の目標に応じてレベルアップができるまち～」として実施	・人口減少に対して、「町内に雇用を創出するためのまちづくり」が3番目に多く13.8% ・地域の活性化のために力を入れるべき取組は「空家に店舗を誘致するなど商店の活性化の取組」が最も多く37.6%	・子育て世代は子ども共働き ・企業誘致に力を入れる ・人を集め、産業について発信する	・買物に行きたいお店がない ・空き地が増えた ・外出の交通手段がない ・気軽に集まれる場がない ・公園を整備してほしい	・高齢者に配慮したインフラの設計 ・高度経済成長期に作られた社会資本の老朽化	0.76	0.03	×改善すべき	・中小企業の支援 ・労働環境の整備、ワーク・ライフ・バランスの両立 ・ICTの利活用を通じたテレワークなどの働き方改革 ・ICTを活用した既存産業の効率化と新規事業の創出 ・技術力を生かした産業の高付加価値などによる国際競争力の強化		案1 案2 案3	雇用・産業	誰もが働きたくなるまち	地域振興を目指したまちづくり 働きやすい環境のまちづくり				
		26 水と緑の環境の保全	0.25	0.24																				
		24 生活・都市基盤の充実	0.50	0.35								0.10	0.24	×改善すべき										
		25 計画的なまちづくりと良好な住宅の誘導	0.68	0.26								0.21	0.35	▼継続										
	地域経済を支える産業の復活をめざします	21 既存商工業の振興	0.96	0.53	重点							0.09	0.27	×改善すべき	・施設の長寿命化、効率的な維持管理 ・ICTの利活用			まちの運営	持続可能な行政運営ができています まち	限られた行政資源を有効活用できているまちづくり 柔軟な体制をとれるまちづくり				
		22 地域に根ざした新ビジネスの創出・発展	1.37	1.15	重点																			
自立と協働のまちづくり戦略	効率的・効果的な行政経営を進めます	29 行財政改革の推進	0.82	0.90	重点		・行財政に対する自由意見は24件と多くなっている住民参画に対する自由意見は5件	・HPでの町や施設に関する情報が少ない ・町自体の実行力や取組をあまり感じられない	・情報化 ・自助・公助・共助	・経常収支比率は10年以上100%を超え続けており、2018年では103.9%	0.67	0.31	×改善すべき	資料2 施策体系(案) P2	資料3 将来都市像(案) P3	資料4 施策の大綱(素案) P4	資料1	基本構想	基本目標	方針				
		28 効率的な行政運営の推進	0.32	0.37							0.16	0.54	×改善すべき											
		30 地域情報化の円滑な推進	1.21	0.34							0.81	0.01	△ゆるやかに改善すべき											
		31 広域連携の推進	1.72	0.16																				
	住民参画を促す環境づくりを進めます	32 開かれた町政の推進	1.04	0.02			・自治会員を集めることが難しい ・補助金や助成金制度が少ない ・地域懇談会を復活してほしい	・町内会に若い人がいない	・住民活動や地域活動への参加について、(参加している+参加しようと思っている)と答えた人は28.5%															
		33 住民が主体となつたまちづくり活動の促進	1.67	0.04																				
34 協働のまちづくりの仕組みづくり	2.02	0.00																						
総合戦略	総合戦略	35 定住・移住促進のための支援	0.82	0.51			基本目標4 「訪れたいまち、住みたいまち(交流)～子育て世代が移住したくなるまち～」として実施	・地域の結びつき、地域活動が活発になったら良い ・移住者に対する優遇	・若いときに暮らしたい魅力が少い ・若い人が結婚した時の優遇が欲しい ・近所の人とのコミュニケーションが少ない ・イベントを増やしてほしい	・地方創生 ・東京一極集中の是正	・転出者は減少傾向にあり、2019年には44人の転入超過 ・移住・定住やタウンプロモーションに関するサイトは存在しない													
		36 忠岡町の魅力づくり	1.45	0.01																				
		37 忠岡町の魅力発信	2.46	0.40																				

■目標設定のポイント

①目標分野を細分化：分野(大綱(5次名称：基本戦略、6次名称：基本目標))を4から7へ。その下に位置する政策(5次名称：基本目標、6次名称：方針)を9から17へ

②重点分野を重視：健康福祉から子育て分野を分離し、子育てと学校教育の重点分野を統合し「こども・教育」へ。「安全・安心」、「産業・雇用」を単独分野へ

■目標設定のポイント

- ①目標分野を細分化：分野(大綱(5次名称：基本戦略、6次名称：基本目標))を4から7へ。その下に位置する政策(5次名称：基本目標、6次名称：方針)を9から17へ
- ②重点分野を重視：健康福祉から子育て分野を分離し、子育てと学校教育の重点分野を統合し「こども・教育」へ。「安全・安心」、「産業・雇用」を単独分野へ